

患者さんへ

「切除不能・進行再発胃癌、大腸癌、膵癌に対するエドルミズ投与に関する観察研究」について

1. はじめに

臨床研究とはより良い診断や治療のために医学的なデータを得るさまざまな研究のことを言います。今回の研究は、診療記録・画像検査・血液検査等の情報を用いて調査する研究です。

2. 研究について

【目的】エドルミズはがんの進行により体重が減少した患者さんに対して体重を維持することを効果効果として薬事承認された新しい経口薬剤です。体重減少を極力減らすことにより、がんに対する治療が安全に継続できる、患者さんの生活の質が維持されるといったメリットが期待されています。エドルミズは臨床研究においてがん患者さんに対して効果や安全性が確認された薬剤ですが、エドルミズ投与の臨床データは未だ多くありません。そこでこの研究では、エドルミズ投与を受けられる胃癌、大腸癌、膵癌患者さんを対象として、エドルミズの治療効果や副作用を明らかにすることを目的としています。

【対象】西暦 2021 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 3 月 31 日までにエドルミズ投与を受けた胃癌、膵癌、大腸癌患者さんを対象とします。また、2021 年 1 月からこの研究開始（2022 年 1 月 31 日）までに、エドルミズ投与を受けた患者については、後ろ向きに観察研究を行います。

【方法】

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：年齢、性別、腫瘍の占拠部位、臨床病期、血液検査所見、体重、CT 撮像時の骨格筋断面積 等

【研究に用いる試料・情報の提供方法】

提供先：大阪大学消化器外科 提供方法：FAX

【研究予定期間】研究許可日 ～ 西暦 2023 年 3 月 31 日

【研究主催機関・研究代表者】大阪大学消化器外科 教授 土岐 祐一郎

3. プライバシーの保護

この研究で得られた情報を取りまとめるために、共同研究機関にあなたの情報を提供しますが、あなたを特定できる情報は記載しません。また、この研究結果は学会や医学雑誌などに発表されることがありますが、個人が特定できないように配慮され、あなたのお名前や住所などが明らかになるようなことはありません。

4. 研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

5. 研究責任者への連絡

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく研究責任者に申し出てください。

診療科： JCHO 星ヶ丘医療センター 外科

研究責任者： 永井 健一

連絡先電話番号： 072-840-2641



【研究の実施体制】

JCHO 大阪病院	西田 俊朗
第二大阪警察病院	文 正浩
愛染橋病院	松尾 吉庸
医誠会病院	樋口 一郎
大阪警察病院	岸 健太郎
大阪中央病院	弓場 健義
JCHO 大阪みなと中央病院	谷口 仁章
大阪労災病院	赤丸 祐介
大手前病院	谷口 英治
加納総合病院	田中 純一
川崎病院	谷川 隆彦
河内総合病院	宮田 幹世
関西ろうさい病院	益澤 徹
紀南病院	道浦 俊哉
近畿大学医学部奈良病院	福田 周一
近畿中央病院	間狩 洋一
国立病院機構大阪医療センター	平尾 素宏
済生会千里病院	谷口 嘉毅
彩都友会病院	林 太郎
四天王寺病院	岸渕 正典
市立芦屋病院	野呂 浩史
市立池田病院	高地 耕
市立伊丹病院	福永 浩紀
市立貝塚病院	高山 治
市立川西病院	秋山 洋介
堺市立総合医療センター	西川 和宏
市立吹田市民病院	矢野 雅彦
市立豊中病院	今村 博司
清恵会病院	五福 淳二

田仲北野田病院	田仲 勝
多根総合病院	森 琢児
豊中敬仁会病院	本間 太郎
富田林病院	辻江 正樹
西宮市立中央病院	足立 真一
日本生命病院	生島 裕文
阪南中央病院	菅 和臣
阪和住吉病院	張村 貴紀
市立東大阪医療センター	松山 仁
兵庫県立西宮病院	岡田 一幸
大阪急性期・総合医療センター	藤谷 和正
大阪国際がんセンター	大森 健
箕面市立病院	岡 義雄
守口敬仁会病院	岡 博史
八尾市立病院	田村 茂行
りんくう総合医療センター	古川 陽菜
大阪大学大学院消化器外科学	土岐 祐一郎
大阪はびきの医療センター	宮崎 知
JCHO 星ヶ丘医療センター	永井 健一